



地域の防災減災力の強化

おもいがわ

思川西部農村環境保全会（栃木県小山市）

おやま

- 当組織は栃木県南部にあり、ラムサール条約湿地に登録された渡良瀬遊水池に隣接した水田地帯となっている。

当組織は26の集落からなる一つの土地改良区で構成され、土地改良区に事務委託するなど、土地改良区と緊密に連携している。

当組織が保安全管理する農地は、H27年9月関東・東北豪雨において甚大な洪水被害を受けたことから、組織内で防災・減災に対する意識が向上し、水田の多面的機能の一つである貯留効果を高める田んぼダムの設置計画を推進している。

【地区の概要】

- ・ 取組面積：1790.3ha
(田1727.2ha、畑63.3ha)
- ・ 資源量：開水路 288.2km
農道 176.1km
- ・ 主な構成員：自治会、子供会
土地改良区等
- ・ 交付金：約77.5百万円
農地維持支払
資源向上支払(共同活動)

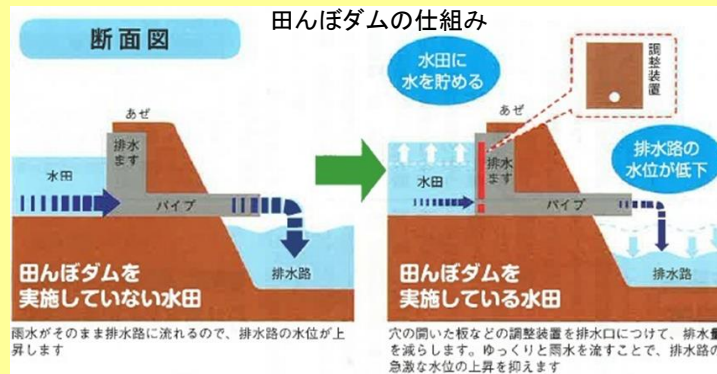
活動開始前の状況や課題

- 平成27年9月関東・東北豪雨において、当組織が保安全管理する農地の一部では、1mを超える湛水被害が一週間続いた。
- 甚大な湛水被害を受けたことから、今後の豪雨災害に対して被害軽減対策を講じ、地域資源の保安全管理を図る必要があった。



豪雨による農道の浸水

取組内容



- 宇都宮大学の検証及び地元農家へのアンケート調査を実施し、地域の防災・減災力の強化として田んぼダムの設置計画を推進



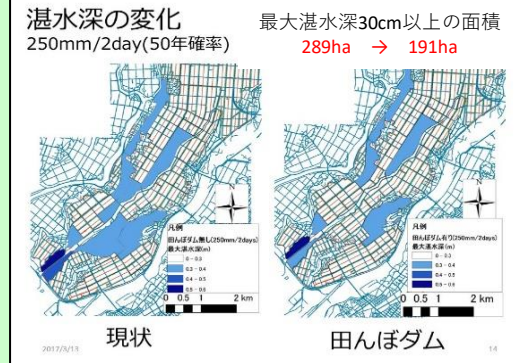
落水マス



直営施工による落水マス設置風景

活動の効果

- 小山市及び宇都宮大学の協力を得て洪水シミュレーションを実施し、効果を検証した。



- 平成29年度から設置し、令和2年度までに、計画3,300カ所のうち2,100カ所の設置が完了した。